

あけびまで
120周年
MARUZEN

一頁一頁から新しい発見を

理科年表

平成2年版国立天文台 編 ポケット版:定価 1,009円
机上版:定価 1,957円

科学知識として、日常に必要な種々の定数、資料を暦・天文・気象・物理化学・地学・生物の各分野にわたり完全集約。本年度版も、改訂を加えてさらに充実!

《主な改訂項目》

- 恒星、銀河の2000.0年赤経・赤緯
- 銀河、銀河団、超銀河団の最新データ
- 太陽定数——変動する定数
- 渦巻銀河の中心部——銀河の中心部がみえてきた
- 天気図記号・日本の気象災害——昭和2年～63年まで
- 世界の大地震年代表——マグマの鼓動をみる
- 日本の標高——不変のはずの山の高さが変わる ほか

フロンティア・サイエンス・シリーズ 029

暗黒星雲からブラックホールへ

米山忠興 訳 四六判/予価 1,300円

基礎科学をリードする

新物理科学雑誌

パリティ 月刊

米国 physics today 誌提携

12月号/発売中 定価 1,236円

パリティ別冊シリーズ No.7

宇宙物理

パリティ編集委員会 編
A4変/定価 2,678円

- 宇宙の起源 “無からの”宇宙の創成は可能か?
- 原始宇宙 銀河の形成/遠宇宙を探る ● ニュートリノ/天文学 超新星爆発とニュートリノ ● 太陽系の形成 ほこりだらけの宇宙 ほか

※定価は消費税込みです。

丸善 (出版事業部)〒103 東京都中央区日本橋 3-9-2 第二丸善ビル
営業 (03) 272-0391 編集 (03) 272-0393**お知らせ****1989年度宇宙電線シンポジウム****「宇宙における星生成活動」**

宇宙電波懇談会主催の標記の研究会を、以下のように開催いたします。

日時: 1990年1月23日(火) 9:00~
24日(水) 17:30

場所: 国立天文台野辺山宇宙電波観測所

主なトピックス:

1. 銀河における星生成
 - 形態・環境による星形成の違い
 - “大規模”星形成と銀河の活動性
 - パネルディスカッション「銀河での星生成」
2. 将来計画
 - LMA 計画/サブミリ波計画/南天4メートル計画
3. 銀河系における星形成
 - 分子雲から原始星まで
 - 分子雲の磁場と乱流
 - 原始星形成およびその周辺の諸現象
 - 銀河系中心部はスターバースト領域か?
 - パネルディスカッション「星形成のシナリオをつくる」

世話人: 祖父江, 長谷川 (東大天文学教育研究センター), 川辺 (野辺山宇宙電波観測所), 水野 (名古屋大学物理A研)

ASTRO Observatory Domes

**天文台の建設は青少年の
未来の心をはぐくみます**

★文部省宇宙科学研究所 天文台の6mドーム★

◆主な天体観測ドーム納入先◆

文部省宇宙科学研究所/東京大学教養学部/宮崎大学教育学部/東京学芸大学/埼玉大学/福島大学/川崎市青少年科学館/杉並区立科学教育センター/駿台学園一心荘(北軽井沢)/防衛大学/東海大学宇宙情報センター(熊本)/栃木県子ども総合科学館/日本文学台(島根県)等の他全国に200余基の実績、

ASTRO 光学工業株式会社

〒170 東京都豊島区池袋本町2-38-15 ☎03(985)1321

申し込み先: 〒384-01 長野県南佐久郡南牧村野辺山
 国立天文台野辺山宇宙電波観測所
 菊池菊江 へて
 Tel. 0267-98-2831

天文教育普及活動における指導者講習会のお知らせ

近年、星空や天体に関心を持つ人の数が増えており、それらの人々への適切な指導の必要性が高くなってきている。人々の関心のレベルは多様で、天文学自体に興味ある人から、きれいな天体写真を撮ることを目標とする人、きらめく星空をながめて楽しむだけで満足な人などがある。一方、天文学自体も、星空の観望の方法も急速な変化を示しており、それらの変化に常に対応することはむずかしくなっているが、マスコミなどでは最先端のテーマが取り上げられることが多く、天文教育普及活動の現場にいる人々にとって困難な状態になってきていると言える。

国立天文台では天文情報普及室を発足させ、それらの問題点を少しずつ解決する努力をしているが、その一環としてタイトルのような指導者講習会を1990年3月に開催することにした。どのような内容にすれば良いか天文情報普及室のスタッフの間でもハッキリした構想ができ上っているわけではないが、取りあえず第一回講習会を

実験的に開催して、逐次改良していくつもりである。フランスのムードン天文台では毎年天文指導者のためのサマースクールを開いており、そこで取り扱われているテーマなどを参考にしたいと思っている。

この講習会の詳しい資料の御入用の方は返信用封筒に自分の住所氏名を書き72円切手を貼って、〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1、国立天文台天文情報普及室あてに申し込んでほしい。 国立天文台天文情報普及室

スペースシャトルを利用した宇宙実験テーマの募集について

宇宙開発事業団は、米国防航空局 (NASA) が主催するスペースシャトル/ラブを利用した第二次国際微重力実験室計画 (IML-2) の宇宙実験テーマを募集しています。応募締切は平成元年12月25日 (消印有効) です。応募資格は日本国内の団体に所属する個人で、所属機関の同意が必要です。資料・応募用紙の必要な方は学会事務所までお問い合わせ下さい。

☆ ☆ ☆

◇ 1 月の天文暦 ◇

日	時	分	記	事
3	2	56	海王星	合
4	19	40	上弦	
5	2	23	地球	近日点通過
7	6	2	土星	合
8	3	52	月	最近
9	11	4	水星	内合
11	13	57	望	
19	6	17	下弦	
19	7	42	金星	内合
20	0	58	月	最遠
20	11	47	水星	留
27	4	20	朔	

1989年10月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	12,	126	11	—,	—	21	9,	120
2	—,	—	12	13,	86	22	—,	—
3	—,	—	13	13,	95	23	10,	123
4	20,	115	14	11,	113	24	11,	115
5	24,	161	15	16,	205	25	9,	103
6	—,	—	16	11,	169	26	11,	94
7	—,	—	17	13,	166	27	11,	67
8	—,	—	18	13,	144	28	13,	63
9	18,	159	19	—,	—	29	11,	60
10	16,	153	20	10,	148	30	15,	88
(相対数月平均値: 152.0)						31	17,	85

◇ 1 月の日月惑星運行図 ◇

